



はやし 幹 林もとひとと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

空港問題

知事と真正面から論戦

12月県議会一般質問

国際空港都市・成田市から県政に登場した若手のホープ・林幹人(はやし・もとひと)県議は、十二月県議会の一般質問に登壇し、空港問題で堂本知事と真正面から論戦しました。林県議は、成田空港の発着回数が三十万回へ増加した場合の地域への経済波及効果や環境面での検討が遅いことを厳しく指摘し、対応のスピードアップを求めました。これに対し、知事は、検討を加速させる必要があると答え、「千葉県にとって正念場だ」との認識を示しました。林県議の質疑を1・2面で特集します。

成田市特集



12月県議会に登壇した林幹人県議

「協議の進捗、非常に遅い！」
容量拡大の影響検討で

周辺九市町・成田空港株式会社からなる四者協議会において、空港法改正の動きなど、成田空港を取り巻く今後の展開を踏まえつつ、段階的に協議・確認していくことが合意されました。

なお、今回の四者協議会では、空港容量拡大に伴う騒音対策などの環境面、駐機場などの施設面及び飛行ルートなど運用面等の課題や今後の対応について、国と空港会社から説明を受けたあと、いわゆる予測騒音コンタクトの作成に向けた協議を行う予定になっています。

また、騒音影響のマイナス面の課題については、十一月五日の国・県・周辺九市町・成田空港株式会社からなる四者協議会において、成田空港を取り巻く今後の展開を踏まえつつ、段階的に協議・確認していくことが合意されました。

なお、今回の四者協議会では、空港容量拡大に伴う騒音対策などの環境面、駐機場などの施設面及び飛行ルートなど運用面等の課題や今後の対応について、国と空港会社から説明を受けたあと、いわゆる予測騒音コンタクトの作成に向けた協議を行う予定になっています。

千葉県にとって正念場

林議員 国際航空需要が急速に増加している中、協議の進捗が非常に遅いことを問題にしたい。五月三十日の第四回会議から、半年の月日が流れたが、いまだに経済波及効果の算定中などでは、あまりに何も進んでいないと言わざるを得ない。

堂本知事 一番問題は、スピードということだと思いますが、急にブレーキをかけて壊れてしまっても困る。県としては、できるだけス

ピードアップしたい。しかし、こちらが走りすぎてしまったのでは、また、成田の場合、合はうまいかなということが多々出てくると思います。ネガティブなところは、相当きちんと押さえていかないと、地元の方々は納得していただけないのではないのでしょうか。

増大する首都圏の国際航空需要への対応や、羽田空港の更なる国際化の動きが活発化している中で、成田空港の容量拡大に向けた検

林もとひと県議・プロフィール

略歴	
昭和48年 9月	銚子市に生まれる
平成 4 年 3月	銚子市立銚子高校卒業
平成 8 年 3月	玉川大学文学部卒業
5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月	空港グランドサービス入社
平成12年 4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月	衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成19年 4月	千葉県議会議員初当選

現職

- ・県議会 商工労働企業常任委員会委員
- ・千葉県 国土利用計画地方審議会委員

県政に新風 市民の声を生かします

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ

〒286-0134

成田市東和田569 なるげや陶器ビル1階F号

林もとひと 県議事務所

TEL 0476-20-0884

FAX 0476-20-0885

Eメール: motohito884@gmail.com

お知らせ

林県議が予算委員会で質問。2月17日(火) 午前10時30分から ちばテレビで生放送。ご覧下さい。

空港周辺地域の観光振興を

外国人観光客誘致フエアで成果



再質問に立ち上がる林県議

県では、こうした地域自らの自主的な取り組みに加え、「房総のむら」における江戸時代風景の再現や佐原の「まちぐるみ博物館」など、地域の魅力を一層向上させるべく、来訪者が長時間滞在できる環境づくりを行ってまいりました。また、韓国・中国・台湾からの観光客を増やすための外国人観光客の誘致に取り組んでいます。

外資系企業の積極誘致を

林議員 現在の外資系企業誘致の取り組みとその成果はどうなっているのか。

商工労働部長 県は、外資系企業を誘致するため、(1)海外企業が日本に進出する場合、必要な各種アドバースを行う「ちば投資サポートセンター」の設置 (2)日本でビジネスを始める拠点となる「外資系企業スタートアップセンター」の幕張新都心への設置 (3)一般のオフィスを借りる場合や都内からの移転等を支援する「外資系企業オフィス等賃料補助金」の創設などに取り組んできたところです。

国・台湾からの観光客を増やすための外国人観光客の誘致に取り組んでいます。

観光資源でモデルコース設定

林議員 観光立県ちば推進基本計画に基づき、今後、空港周辺地域の観光振興にどのように取り組んでいくのか。

商工労働部長 空港周辺地域では、北総・利根川を一つのエリアとして、成田山新勝寺、佐倉の武家屋敷

また、「国際観光の促進」を施策の柱の一つに掲げて、外国人の来訪を促進するこ

施しました。具体的には、韓国・中国・台湾の旅行会社とタイアップし、北総地域の祭りやイベントを組み入れた観光コースの設定により、三千人を目標に外国人観光客の誘致を図ってまいりました。この結果、十一月二十日現在、約二千五百人の外国人観光客の方々が訪れていて、成果が上がっていると考えております。

地域資源で経済活性化

林議員 「地域資源活用促進法」に基づき、県内経済の活性化にどう取り組んでいるのか。

商工労働部長 昨年八月に策定した基本構想で、農林水産物や工業品、観光資源など二百十七の特色ある地域資源を位置づけて、これらを活用した新たな事業展開が図られ、地域ブランドが生まれるよう、マーケティングの専門家を派遣し、事業化に向けた検討を促してきたところです。最近の認定事業では、成田市でサツマイモなどの特産野菜を加工してペースト商品を事業化した事例もあります。

林議員 成田国際空港を擁し、首都圏へのアクセスにも優れた優位性を生かして、さらに積極的に取り組むべきと思うがどうか。

商工労働部長 県はこれまで、成田空港という優位性を生かしながら、「幕張」「かずさ」さらには「柏」といった国際交流拠点を整備してきました。来年四月に

成田市特集 12月県議会一般質問 はやし 幹人 林もとひと 県議

若さと情熱で 県政にチャレンジ



成田空港を視察する林県議